

令和元年度 第3回 学校関係者評価委員会 記録

1 日 時 令和2年2月20日(木) 11:10～12:20

2 場 所 本校会議室

3 出席者 京田委員(阿久根中学校長), 石川委員(阿久根まちな駅)
遠矢(宮田委員)代理(旧PTA副会長)
校長, 教頭, 事務長, 教務部・進路指導部・保健部主任
総合学科主任, 1・2・3学年主任(合計13名)

4 会 順

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 学校から

ア 各学部の実績と成果(教務部・生徒指導部・進路指導部・保健部・農場部)

イ 資格取得状況

ウ 3年生アンケート

エ 本校への入学実績等

(4) 評価委員からの意見

ア 京 田 ～がん教育について, 命の大切さを学べるので良いと思うが, がんで亡くなった親等のいる子供の対応はどうしたか。

回答～本校は2年生で実施したが, 親等ががんで亡くなり, 子講演会に参加したくない生徒の有無を事前に調査したうえで実施した。

イ 京 田 ～不登校生はどのくらいいるのか。

回答～長期欠席(30日)傾向にある生徒は, 全体で5名程度, 中には進路変更した生徒もいる。

イ 遠 矢 ～ブログについて, 修学旅行など拝見させていただいたが, 広報が先生方主体となっており面白みに欠けている。生徒目線でのブログ(広報)にできないか。その方が見る側にとっても面白いものになり, 興味を持っていただけなのではないか。

(5) 信頼される学校作りのための委員会及びいじめ防止対策委員会

学校側より資料の説明など

いじめに関する調査と対応について報告

(6) 評価委員からの意見（全体を通して）

ア 石 川 ～地域に愛され、地域に役立つ生徒の育成について共感を持つことができた。学校が生き残るためには、5 年、10 年といった長期的な計画や単年度ごとの結果の出せる取組が必要で、何のために行うのかしっかりとした意識づけが必要である。（目標の設定）

資格の取得について、企業のニーズは必ずしも国家資格とは限らない。教育課程内だけでなく、部活動やインターネット等の活用によるオンデマンドの学びも取り組んで欲しい

イ 京 田 ～学校の存続について、生徒確保に努力されていると思う。

ただ、市内の中学生の数はどんどん減っており、今後は市外からの生徒確保が重要です。中学生へのアピールはできていると思うが、その保護者へのアピールがもっと必要になると思います。

（中学校だけでなく小学校へのアピールそして、部活動での成果、生徒の印象など）

ウ 遠 矢 ～中学生の保護者が知らないことが多い。保護者が知る機会をもっともっと増やして欲しい

(7) 閉会のことば